

直近の世論調査から－2018. 6. 6(内閣の支持率逆転は3カ月目に)

1. 安倍内閣は5年5カ月目に。支持率逆転は3カ月継続(支持37.5%－不支持48.8%)

①安倍内閣の支持率は、5月は平均で37.5%、不支持が48.8%となった。前月比では支持率は微増+2.0%とやや回復したが(不支持率減-2.7%)、3カ月連続での支持・不支持の逆転現象は続いている。支持と不支持との差(11.3%)は大きく、森友・加計問題等の内政が打開のメドがない状態では、6月にこの支持の逆転から回復することは困難だろう。

加計－柳瀬氏の証言に納得できるか

	納得できる	納得できない
4社平均	10.4	79.0

加計問題－政府の認可手続は

	適切だった	不適切
共同5.14	16.9	69.9

首相が知ったのは17年1月と答弁

	信用する	信用しない
2社平均	14.0	73.0

安倍政権は加計・森友に適切に対応？

	適切に対応	していない
朝日5.21	13	75

加計－安倍首相の説明に

	納得できる	納得できない
日経5.28	16	74

森友－安倍首相の責任

	責任ある	責任ない
日経5.28	68	23

麻生財務相－セクハラ問題発言

	問題ある	問題ない
JNN5.14	76	18

麻生財務相－文書改ざん説明

	納得できる	納得できない
JNN5.14	14	78

財務相はセクハラ問題で適切対応？

	適切に対応	していない
朝日5.21	20	64

麻生財務相の責任

	辞任すべき	必要ない
5社平均	50.0	38.3

イラク日報－組織的隠蔽の意図なし

	納得できる	納得しない
日経5.28	17	70

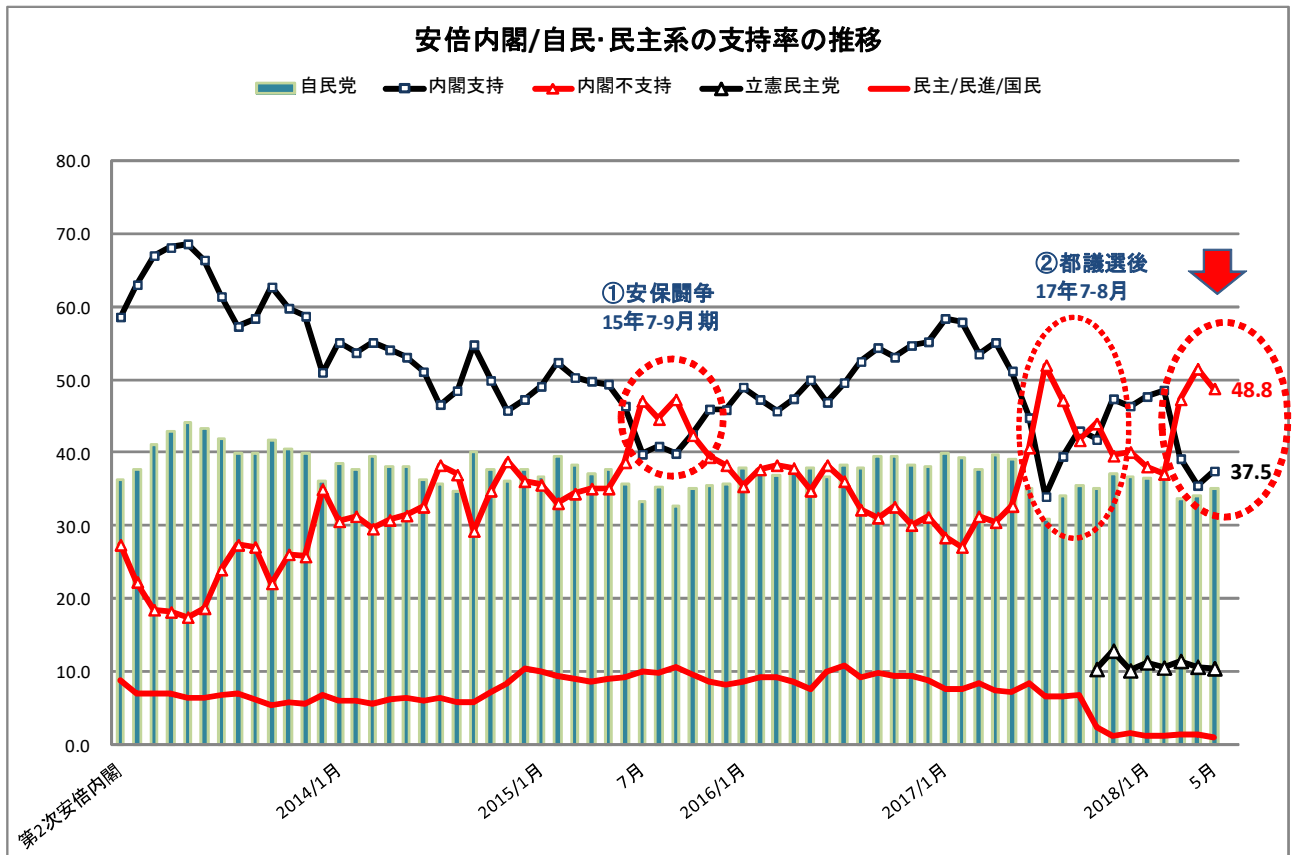
イラク日報－文民統制が利いているか

	利いている	いない
日経5.28	19	57

②安倍政権は第2次(2012年12月)以降、5年と5カ月目を迎えたのだが、延々と続く森友・加計・イラク日報問題などで、国民世論は批判を超えて“嫌悪感”が広がっている。加計問題での5.10柳瀬証言に「納得した」のは1割程度で、この他の安倍政権

の一連の対応や首相の説明に納得しているのは13%～19%にとどまる。

政府のウソと捏造、隠蔽体質は社会問題化し、話題となった日大アメフト部の不正プレ



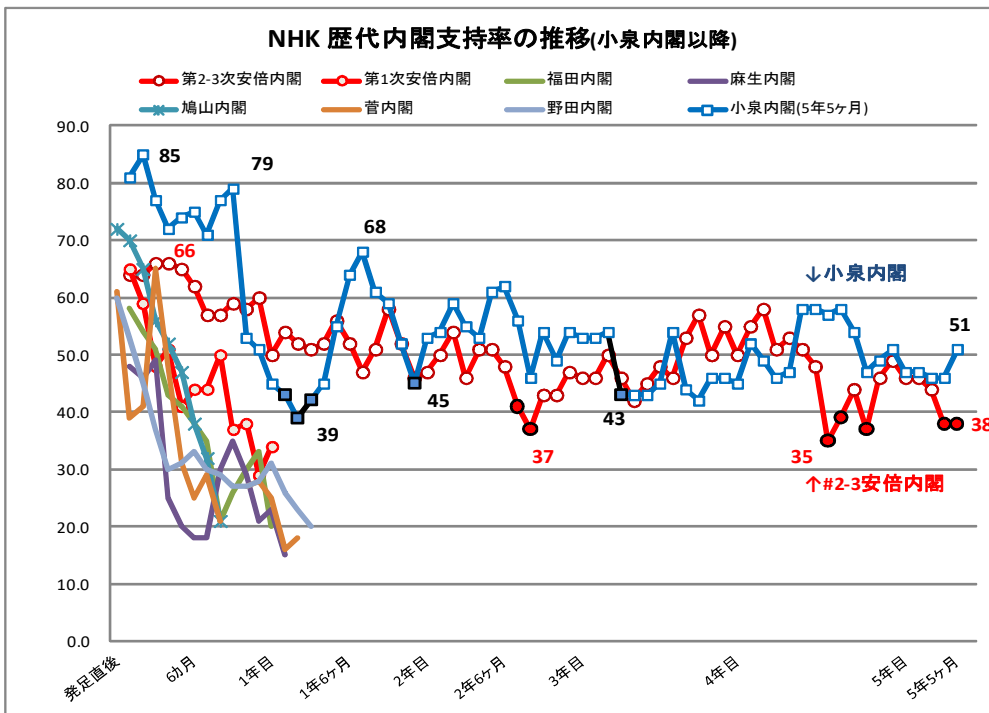
ーを隠蔽しようとする監督・大学当局に対する姿勢に対しては「社会の安倍化」という批判まで生んだ。

内閣支持率

月	支持	不支持
日経5.28	42	53
毎日5.28	31	48
読売5.21	42	47
朝日5.21	36	44
共同5.14	38.9	50.3
時事5.18	38.1	43.0
NHK5.14	38	44
JNN5.14	40.6	57.7
ANN5.21	34.1	51.1
FNN5.21	39.8	48.5
NNN5.21	32.4	50.6
平均	37.5	48.8
4月平均	35.5	51.5
前月比	2.0	-2.7

③ 結論の見えない国会審議に対するイライラ感も強まり、国民も今後の国会審議の重点を「働き方改革・国際情勢などに」（NNNで63.4%）、「外交・経済に重点を」（FNNで73.0%）となってきた。しかし引き続き「関係者の国会招致」を求める声はなお強くあり（日経で62%。先月調査の「昭恵夫人の国会招致」は賛成59.3%・反対32.0%だった。4社平均）、簡単に幕引きは許されない。

④ 安倍内閣（第2-3次）は5月に、長期政権と言われた小泉内閣と並ぶ5年5カ月を記録した。次図はNHKの歴代内閣支持率の推移（小泉内閣以降）だが、発足翌月に85%という驚異的な支持率を獲得した小泉内閣も、実は政権期間中に3度の支持率逆転を経験していた（マーカーが黒色）。最初の逆転は、最大の下げ幅を記録した2002年1月田中真紀子外相更迭に始まり（この時支持率79%）、6月には「支持39%・不支持52%」にまで急落した（5月～7月に支持率が逆転）。これを挽回するため打った手が9月の北朝鮮電撃訪問（平壤宣言締結）で、拉致日本人5人が帰国した11月には68%にまで跳ね上がったことを思い出す。支持率逆転の2回目がイラク戦争開始時の2003年3月の「支持45%・不支持46%」。3回目が6月の有事法制強行採決による2004年7月の「支持43%・不支持45%」だった。しかしこの小泉内閣も支持率40%を切ったのは一度だけだった。



訪問（平壤宣言締結）で、拉致日本人5人が帰国した11月には68%にまで跳ね上がったことを思い出す。支持率逆転の2回目がイラク戦争開始時の2003年3月の「支持45%・不支持46%」。3回目が6月の有事法制強行採決による2004年7月の「支持43%・不支持45%」だった。しかしこの小泉内閣も支持率40%を切ったのは一度だけだった。

安倍内閣は既に5月で6回目になっている（NHK支持38%・不支持44%）。

2. 安倍三選に賛成33%（朝日）。「働き方改革」法案の今国会成立「賛成30%・反対51%」

安倍氏の自民党総裁三選継続に		次の自民党総裁には誰が？	
	賛成	反対	
朝日5.21	33	53	読売5.21 ①小泉32 ②安倍・石破23
毎日4.23	25	59	④岸田・野田 4 ⑥河野 3
3月2社平均	30.0	54.0	NNN5.21 ①石破 24.7 ②小泉 21.4
2月毎日	41.0	44.0	③安倍19.7④岸田5.1⑤野田4.2⑥河野3.6
1月4社平均	41.8	45.6	朝日5.21 ①安倍 27 ②石破 25
安倍内閣が優先すべき課題は		③野田 7 ④岸田 5	
毎日5.28	①年金・医療 29		ANN5.21 ①石破 27 ②小泉 23
②子育て支援 14	③原発エネルギー 8	③安倍17④岸田7⑤野田6⑥河野4	毎日5.28 ①石破 20 ②小泉 17
④安全保障法関連 6		③安倍16④岸田野田3⑥河野2	日経5.28 ①小泉28 ②安倍 24
⑤憲法改正/森友・加計問題/消費増税 5		③石破23 ④野田 5 ⑤岸田4⑥河野 2	
⑧アベノミクス/北の核ミサイル問題 4			
⑩震災復興問題 3			

⑤ 結束を固めていた自民党内部もさすがに安倍批判を押しとどめることが出来なくなってきているが、秋の総裁選挙での安倍三選に対しては、今月朝日の調査では「賛成33%・反対53%」になった。次期総裁候補人気でのトップは、石破が3社、小泉2社、安倍は1社のみ。安倍政治に対する批判・嫌悪感が広がっても、政権交代勢力（自民党内部も、野党も）が見えぬ中で、形骸化した「安倍一強」現象

だけが漂い続けている風だ。

⑥安倍内閣目玉の「働き方改革」は、2月に裁量労働制の導入を断念し、焦点は高度プロフェッショナル制度導入の是非に移っている。高プロ導入に対しては、導入賛成派は2月

働き方改革関連法案の今国会成立に

	賛成	反対	※設問内容に
共同5.14	20.3	68.4	
NNN5.21	37.3	43.7	※残業規制
朝日5.21	19	60	※高プロ
ANN5.21	45	36	※残業・同一
FNN5.21	25.3	57.9	
日経5.28	37	44	※残業・高プ
毎日5.28	27	50	※残業・高プ
平均	30.1	51.4	
3月4社平均	24.8	59.2	

働き方改革－高プロ導入に対して

	賛成	反対
NNN5.21	22.8	37.0
ANN5.21	27	41
5月平均	24.9	39.0
3月4社平均	27.5	49.5
2月2社平均	29.4	48.5
日経1.29	42	39

高プロ法案の今国会成立に

	賛成	反対
読売5.21	25	60

以降の調査を見ても減ってきて、5月は「賛成 24.9%・反対 39.0%」（2社平均）。今国会での成立には「賛成 25%・反対 60%」（読売）。働き方改革法案は他に残業規制、同一労働同一賃金を求める法案等と抱き合わせになっている。一般論として「働き方改革法案の今国会成立」について聞いて見ると、ややバラツキがあるが、7

社の平均では「賛成 30.1%・反対 51.4%」となった。各社の設問内容では、一般論として「働き方改革法案」の是非を聞いた共同と FNN と、「高プロ」の文言だけを入れて聞いた朝日では反対が6割～7割と高く、これに対して「残業規制」や「同一労働同一賃金」の文言を説明内容に入れた聞き方をした調査ではやや賛成派が多くなっているように見える。

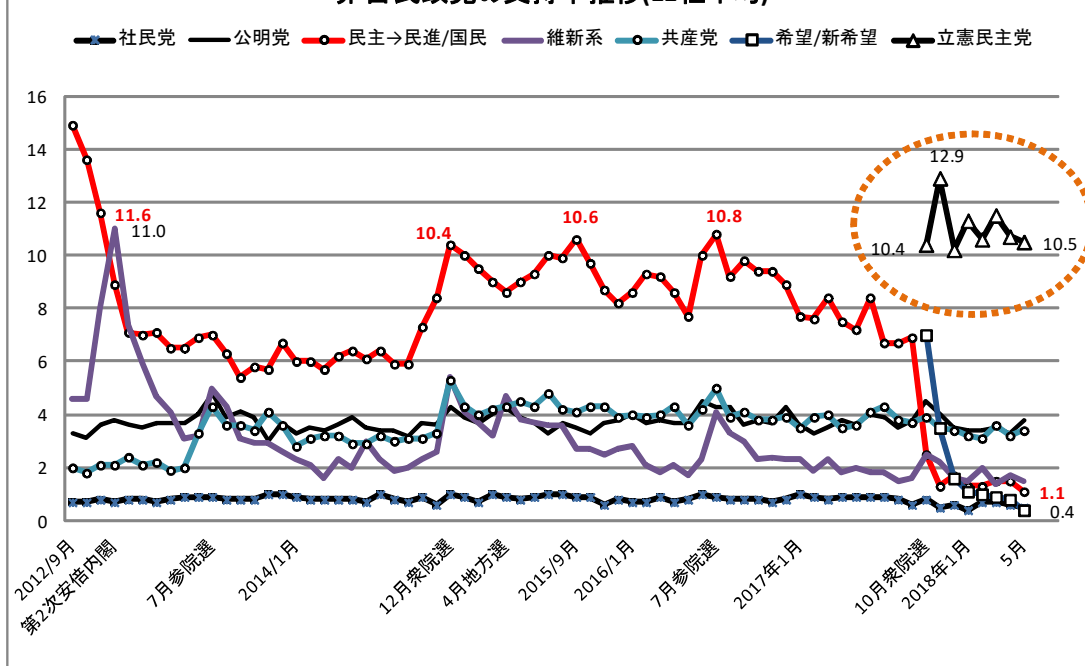
3. 国民民主党の支持率1.1%…（民進+希望）2.3%から激減。新希望は0.4%

政党支持率

5月	自民	立憲	国民	新希望	公明	共産	社民	維新	自由	支持なし
日経5.28	42	12	1	0	4	4	1	2	0	30
毎日5.28	26	13	1	1	4	4	0	2	1	40
読売5.21	37	7	2	0	4	3	0	2	0	42
朝日5.21	36	9	1	0	3	3	0	1	0	39
共同5.14	37.1	13.3	1.1	0.7	3.7	4.5	0.8	1.5	0.7	34.2
時事5.18	26.8	5.0	0.6	0.2	4.4	1.7	0.4	0.7	0.2	57.7
NHK5.14	35.9	7.9	1.1	0.1	3.5	2.3	0.3	0.7	0.3	40.4
JNN5.14	30.4	8.3	0.8	0.3	3.7	2.5	0.3	1.8	0.1	49.1
ANN5.21	41.4	15.2	1.5	0.7	4.1	5.7	1.3	1.6	0.4	26.9
FNN5.21	35.9	13.1	1.0	0.7	4.0	3.3		2.0		36.3
NNN5.21	36.7	12.2	0.5	0.4	3.7	3.2	1.2	1.4	0.5	39.8
平均	35.0	10.5	1.1	0.4	3.8	3.4	0.5	1.5	0.3	39.6
4月平均	34.1	10.7	民進1.5+希望0.8=2.3	3.3	3.2	0.6	1.7	0.2	0.2	40.6
前月比	0.9	-0.2	-0.4	-0.4	0.5	0.2	-0.1	-0.2	0.2	-1.0

⑦野党では、5.7 結成の国民民主党の初めての支持率が出た。11社平均で1.1%とはさすがに低すぎかも…。前身であった民進党1.5%+希望の党0.8%の前月合計支持率2.3%からして、新党を結成した意味があるのかと問われる内容だ。

非自民政党の支持率推移(11社平均)



(純粹に?) 「小池新党」に近くなった新希望の党の最初の支持率も0.4%で同じく出だしは不調。両党が今後存在感を示す見通しはなくなったようだ。

しかし野党第一党の立憲民主党

国民民主党に期待するか		
	期待する	期待しない
JNN5.14	15	75
共同5.14	18.1	74.3
朝日5.21	21	69
FNN5.21	19.0	75.2
日経5.28	21	69
平均	18.8	72.5
NHK5.14	8	50
どちらもとも 34		

※9.25希望の党結成
 ※10.3立憲民主党結成
 ※10.22衆院選挙投票日

希望の党(小池代表)に期待するか		
	期待する	期待しない
10月4社平均	33.2	59.2

枝野代表の立憲民主党に期待するか		
	期待する	期待しない
10月3社平均	35.7	56.0

も 10.5%で足踏み状態が続いている。

ちなみに次の表は、5月に実施された「国民民主党に対する期待感」の調査(5社平均)だが、「期待する」が18.8%、「期待しない」が72.5%と厳しいものだった。参考までに昨年10月衆院選直前の希望の党と立憲民主党に対する調査結果をまとめたものを載せておいた。

4. その他

⑦その他の調査項目で特徴的なのは、<1>自衛隊は現行の憲法では「違憲 25.8%・合憲 57.0%」と見られている(FNN)。<2>カジノ法案の今国会での成立には「賛成 27.0%・反対 61.7%」(3社)。<3>日朝首脳会談開催に「肯定的 64.5%・否定的 28.0%」(2社)などがあった。

安倍首相の下での憲法改正に

	賛成	反対
共同5.14	31.7	57.6

自民党が検討している9条改正案に

	賛成	反対
読売5.21	44	39
FNN5.21	60.6	

自衛隊は現行憲法では

	違憲	合憲
FNN5.21	25.8	57.0

カジノ法案の今国会成立に

	賛成	反対
読売5.21	23	69
ANN5.21	23	67
日経5.28	35	49
平均	27.0	61.7

日大アメフト問題-日大の説明に

	納得できる	納得できない
毎日5.28	1	82

男女議員均等法で同数に近づける

	そう思う	と思わない
毎日5.28	44	37

成人年齢引き下げの民法改正案

	賛成	反対
朝日5.21	37	53

大相撲-女性が土俵に上がることを

	認めるべき	認めない方が
朝日5.21	65	23

米朝首脳会談に期待するか

	期待する	期待しない
共同5.14	58.0	37.3

米朝首脳会談期待するか-非核化

	期待する	期待しない
JNN5.14	34	65
ANN5.21	32	54
平均	33.0	59.5

米朝首脳会談で核ミサイル開発阻止

	期待する	期待しない
読売5.21	66	29
FNN5.21	59.9	

同上一どの程度期待できるか

	期待できる	期待できない
朝日5.21	31	67

米朝首脳会談で拉致問題解決に

	期待する	期待しない
読売5.21	60	37
FNN5.21	64.6	

米朝首脳会談の中止表明

	評価する	評価しない
日経5.28	49	33

南北首脳会談を評価するか

	評価する	評価しない
NHK5.14	61	30

南北・米朝会談は北の核問題解決に

	つながる	つながらない
NHK5.14	22	25

どちらもとも 45

北朝鮮に対する不安は

	不安ある	不安ない
JNN5.14	84	14

北朝鮮に対する対応は

	圧力重視	対話重視
読売5.21	41	48
NNN5.21	40.0	45.5
平均	40.5	46.8

日朝首脳会談を行うことに

	肯定的	否定的
ANN5.21	61	33
日経5.28	68	23
平均	64.5	28.0

拉致解決のために日朝首脳会談開催

	賛成	反対
NNN5.21	83.9	9.7

日朝首脳会談の時期は

JNN5.14	①できるだけ早く 30
	②慎重に検討 63
	③必要ない 4

読売5.21	①できるだけ早く 41
	②慎重に検討 55

朝日5.21	①早い時期に会談を 55
	②急ぐ必要ない 36

安倍首相は米中韓と連携対応を表明

	評価する	評価しない
NHK5.14	65	28

首相が平壤宣言で国交正常化を表明

	評価する	評価しない
NHK5.14	61	31

安倍首相の一連の首脳外交を

	評価する	評価しない
読売5.21	63	28

日本が北との交渉では蚊帳の外?

	そう思う	思わない
ANN5.21	69	24

拉致問題解決まで北への制裁続行

	続けるべき	そう思わない
FNN5.21	81.5	

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)